

AGST/J 関西研修センター2025-2026 年度冬学期のご案内  
(AGST は秋学期始まりです)

救い主イエスをたたえます。

AGST/J 関西研修センター2025-2026 年度冬学期コースの内容と日程を下記のとおりご案内いたします。2025 年秋学期から (100 分+10 分休憩+100 分) ×6 回授業になっています。

今学期の午前は 1/5 は Zoom、録画、1/26 は対面、録画、残り 4 回は Zoom、録画での授業です。

午後は対面と録画での授業です。

授業のレジメ資料等はデータにてメール配布いたします。(コピーは実費を頂きます)

記

■講義日時 2026 年 1/5, 1/26, 2/2, 3/2, 3/9, 3/23 各月曜日 計 6 回

■講義主題/担当講師 ■単位/各科目 2 単位 ■会場/神戸ルーテル神学校

午前 9:00~12:30 『キリスト教教育』(PT) 錦織寛師(東京聖書学院教授)

午後 13:30~17:00 『ルターのガラテヤ書大講解に見る聖化の強調』(NT, HT, ST) 正木牧人師  
(神戸ルーテル神学校教授)

■授業日程

① 1/5 (月)

午前 「キリスト教教育視点」

午後 「序論 ルターの大講解に見るガラテヤ書のめあてと構造の理解」

② 1/26 (月)

午前 「成長ということ」

午後 「1:1-2:21 挨拶、教会の課題とその背景、二つの解決」

③ 2/2(月)

午前 『「教会」を育てる教育』

午後 「3:1-4:7 解決 1 義とされること」

④ 3/2(月)

午前 「教える者としての自己理解」

午後 「4:8-5:1 解決 1 義とされること 続き」

⑤ 3/9 (月)

午前 「キリスト教教育の歴史的視点」

午後 「5:2-6:10 解決 2 義人として生きること」

⑥ 3/23 (月)

午前 「教育哲学的振り返り」

午後 「6:11-6:18 手紙のまとめと結論

まとめ：課題解決におけるキリスト理解と聖化の強調」

■申込締切：2025年12月28日(木)まで。期限厳守でお願いします。

必要事項を もれなく ご入力の上、メールにて、所定の用紙にご記入のうえ  
お申し込みください。神学校事務室は年末年始休みのためFAXでの申し込みは  
お避け下さい。メールでのお申し込みが早くて確実です。

授業を欠席される場合は、必ずご一報をお願いいたします。

■受講料：1科目につき 全講座受講 24,000円 (2026年1月1日以降にお振込みください)

■単位取得：単位取得希望の方は、全授業出席(視聴)とレポートの提出のこと。

\*今後、メールでのご受信が可能な方には、メールのご案内に移行させていただきます。  
以降、授業案内をご希望の方は、メールアドレスをお知らせおきください。

お申し込み連絡先：AGST/J関西研修センター

〒651-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5 神戸ルーテル神学校内

TEL：078-221-6956

FAX：078-221-5825

E-mail：agstjapan@gmail.com

AGST/J 関西研修センター2025-2026 年度冬学期  
受講申込書

申込日： 年 月 日

下記のとおり、受講を申し込みます。

※の項目は必ずお書きください

フリガナ

※お名前：

年齢： 才

〒

※ご住所：

電話番号

ピリオド、アンダーバー等の記号をわかりやすくご記入ください

※携帯電話番号：

※E-mail：

※所属教団・教会：

※立場：（牧師・信徒）

✓を入れてください

『キリスト教教育』 錦織寛師 9:00～12:30

受講料： 全講座 24,000 円

単位取得： あり なし

受講方法： 1/5, 1/26, 残りの4回と受講方法が違いますのでご注意ください。

1/5 Zoom 録画受講

1/26 対面 録画受講

残りの4回 Zoom 録画受講

『ルターのガラテヤ書大講解に見る聖化の強調』 正木牧人師 13:30～17:00

受講料： 全講座 24,000 円

単位取得： あり なし

受講方法： 対面受講 録画受講

今回初めて録画配信での受講希望の方のみ、確実なメール送受信のため、

agstjapan@gmail.com まで、タイトルを「受講希望者〇〇〇〇」と御名前をご入力の上

うえ空メールをお送りください。別途「録画配信授業の流れと約束」をメールにて送ら

せていただきます。

お申込み連絡先： AGST/J 関西センター

〒651-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5 神戸ルーテル神学校内

TEL：078-221-6956

FAX：078-221-5825

E-mail：agstjapan@gmail.com

## 錦織寛先生からの「キリスト教教育」の小テーマと内容説明

あなたはこれまで「キリスト教教育」とどのように関わってこられたでしょうか。あなたは「キリスト教教育」にどのようなイメージを持っておられるでしょうか。主イエスは教育者でもありました。そして、多くの人たちが主イエスから学びたいと願って主イエスのところに集まってきました。それだけ主イエスは魅力的でしたし、主イエスの教育は人々を引きつけるものを持っていたのです。その意味でも、本来、キリスト教教育とはとても楽しく、魅力的なものであるはずです。

この授業ではクラスの途中で教師・学生相互に質疑を交わしたり、ディスカッションをしたりもします。やむを得ず、録画視聴で参加される場合、その分のレスポンスシート提出を求められます。またこの期間中に、レポート提出、発表の時があります。受け身でただ授業を受けるということではなく、クラスに積極的に参加すること自体を通して、キリスト教教育を体験していただきたいと思います。

### 1/5 キリスト教教育的視点

キリスト教教育的視点を持つということは決して当たり前のことではありません。物事を教育的な視点から見ることについて考えたいと思います。

### 1/26 成長ということ

教会は全世代の人が集まっている場です。学び手自身が成熟の過程の中にあります。そして学び手のニーズを知ることは、効果的な教育につながっていきます。発達心理学的な視点についても考えてみたいと思います。

### 2/2 「教会」を育てる教育

私たちは個人を育てると共に、共同体を育てる教育的な働きに携わっています。「教会」を育てるとはどういうことなのか、考えてみたいと思います。

### 3/2 教える者としての自己理解

私たちが「教育者」として人と関わる時に、どのような自己理解を持っているかということはとても重要なこととなります。教育的な視点から、自己分析をしてみたいと思います。

### 3/9 キリスト教教育の歴史的視点

世界の教会の歴史の中で、また日本の教会の歴史の中で、どのように教育が行われてきたか、歴史的な視野から見ていきたいと思います。

### 3/23 教育哲学的振り返り

「なぜ、私がそのような教育的な取り組みをするのか」ということの背後には自分の経験と共に、教育哲学的な思索があります。そしてそのことを理解することは、私たちの教育的な取り組みを理解する上でとても大きな助けになります。



AGST/J 関西研修センター 2025-26 年冬学期

マルティン・ルターの「ガラテヤ書大講解」に見る  
聖化の強調

正木牧人

1月5日

第一 序論 ガラテヤ書概観 ルター著作概観

第二： ガラテヤ書大講解のめあてと構造

1月26日

第三 1:1-1:12 挨拶と教会の課題

第四 1:13-2:21 課題の背景とふたつの解決

2月2日

第五 3:1-3:18 解決1 義とされる1

信仰の人アブラハム

第六 3:19-4:7 解決1 義とされる2

相続人のなり方

3月2日

第七 4:8-4:20 解決1 義とされる3

これまでの幸福

第八 4:21-5:1 解決1 義とされる4

サラとハガル

3月9日

第九 5:2-5:15 解決2 義人として生きる1

割礼は無益

第十 5:16-5:126 解決2 義人として生きる2

肉の行いと霊の実

3月23日

第十一 6:1-6:10 解決2 義人として生きる3

霊によってひとつとされた教会

第十二 3月23日 6:11-6:18 まとめと結論

ルターのガラテヤ書大講解の聖化の強調